



# RCNP安全ガイドブック

- 2011年版 -

RCNP Safety Guidebook 2011



大阪大学 核物理研究センター

Research Center for Nuclear Physics, Osaka University

大阪大学 核物理研究センター  
安全ガイドブック  
ホームページ

<http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/Divisions/plan/riyou/Anzen/index.html>

(各種書類がダウンロードできます)

編集 安全衛生委員会

2011年8月

# はじめに

核物理研究センターは世界最先端の装置を有し全国共同利用の拠点として、原子核物理学とその関連分野の研究を推進しています。研究の中心となるサイクロトロン施設は大阪大学吹田キャンパスにあります。その他に SPring-8 の LEPS 施設、奈良県五条市の大塔コスモ観測所、岐阜県飛騨市神岡町の二重ベータ崩壊実験室など、研究の目的に応じて研究場所も広く展開しています。平成 22 年度には共同利用・共同研究拠点として認められ、「サブアトムック科学研究拠点」として 6 年の中期計画期間の研究を進めています。

研究の原点は新しい発見にあります。そのためにはチャレンジが必要です。実験装置は常に改善、改良が必要で場合によっては飛躍を必要とします。核物理研究センターは加速器研究、核物理実験研究に加えて核物理理論研究が相互に刺激しあい、拠点の特徴を生かして集まる多くの研究者の考えをぶつけ合うことで、装置や理論の新しい発想に到達し、究極には自然の摂理を解明することを目的としています。

研究は知的好奇心を刺激するもので、基本的に楽しいものです。しかし、特に実験研究は危険と隣り合わせであることも常に意識しておかなければなりません。失敗を全く無くすことは出来ませんし、失敗が発展の基礎であることは一般に知られています。しかし、準備なしに実験を始めて良いわけではありません。良く考えて周到に準備された実験であれば、失敗が最低限に抑えられ、その失敗から学ばれた経験は新しい概念を生み出す原動力となります。また事故や怪我などを避けることが出来ます。

核物理研究センターでは安全面で随所に工夫を凝らしています。この安全ガイドブックにはその内容が説明されています。是非、ご一読下さい。そして現場でも常にご活用下さい。ちょっとした注意あるいは当たり前の注意が、事故の無い研究を進める上で重要であることがご理解頂けると思います。

核物理研究センターで研究する皆様の一人一人の努力が未来の核物理研究センターを育てる原動力です。核物理研究センターは研究者の方々が確実に研究成果を上げていける体制を心がけています。一方で、安全で事故の無い研究活動を行うためにも皆様のご協力を心からお願いします。

大阪大学核物理研究センター長 岸本忠史

# 目次

## はじめに

◎	緊急連絡先（ピンクページ）	．．．．．	1
◎	センター内各担当者の連絡先一覧 （イエローページ）	．．．．．	3
◎	医療施設一覧（グリーンページ）	．．．．．	5
1.	緊急（火災、爆発、地震）の場合	．．．．．	9
2.	救急（ケガ、急病）	．．．．．	15
3.	放射線	．．．．．	19
4.	化学薬品	．．．．．	25
5.	ガス	．．．．．	29
6.	電気	．．．．．	41
7.	クレーン	．．．．．	47
8.	フォークリフト	．．．．．	49
9.	高所作業	．．．．．	51
10.	酸素欠乏のおそれのある作業	．．．．．	53
11.	機械工作	．．．．．	55
12.	溶接	．．．．．	59
13.	レーザー	．．．．．	61

14.	動物実験	・ ・ ・ ・ ・	65
15.	水素炉	・ ・ ・ ・ ・	67
16.	国際規制物資	・ ・ ・ ・ ・	69
17.	一般安全	・ ・ ・ ・ ・	71